

コロナ禍でのイベント

五霞ふれあい祭り実行委員がみんなで考えました

新型コロナウイルス感染症の影響で延期となった昨年の五霞ふれあい祭り。その他のイベントなども多くが開催を見合わせました。

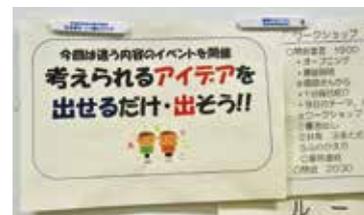
それは五霞町に限らず、日本中でイベントの中止・延期が相次ぎ、令和2年度は少し寂しい1年となりました。

そして今年4月、未だ感染の収束が見えないなか、コロナ禍でもできることはないかと、五霞ふれあい祭り実行委員が集まりました。

感染症対策を講じながらも、町に活気を生むようなイベントを目指して、各委員が知恵を出し、工夫を凝らした話し合いが重ねられました。

第15回五霞ふれあい祭りは、これまでとは大きく変わった形で開催されます。実行委員のみならず「新型コロナウイルスに負けない！町も人々も元気にしたい！」という熱い思いが詰まった企画です。みなさんもぜひ参加して楽しんでください。

五霞ふれあい祭り実行委員は一般公募による委員のほか、各関係団体から選出された方々で構成されています。みなさん忙しいなか多くの時間を割いて会議や打ち合わせに参加してくれました。



ワークショップで様々な意見を出し合って、町も人も元気にできるイベントを模索しました。

ワークショップのルールは3つ

- ①否定・批判をしない
- ②笑顔・拍手・あいづちを大切に
- ③気楽に楽しく中身濃く!!



森田委員長

コロナ禍のイベントで全くの手探り状態で不安でしたが、実行委員のみなさんからたくさんのアイデアが出ました。緊急事態宣言中にも、オンライン会議や分散会議で対応してようやくここまでできました。五霞町そして町民のみなさんに、今できることはなにかを形にしたつもりです。一人でも多くの方々に参加していただき、喜んでもらえたら幸いです。



決定機関である五霞ふれあい祭り運営委員会で企画の趣旨や内容を説明します。新しい試みに運営委員のみなさんからも多くの質問が飛び交いました。